

<領域：人間と社会>

人間の尊厳と自立

問題 1 1960年代後半からアメリカで展開した自立生活運動に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害者自身の選択による自己決定の尊重を主張している。
- 2 障害者の自立生活は、施設や病院で実現されるとしている。
- 3 「ゆりかごから墓場まで」の実現に向けた制度設計を目指している。
- 4 障害者が機能回復を図ることを「自立」としている。
- 5 介護者を生活の主体者として捉えている。

問題 2 Aさん(65歳, 男性, 要介護2)は, 昨年, アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断された。妻は既に亡くなり, 娘のBさん(35歳)は遠方に嫁いでいる。Aさんは, 現在, 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)で生活している。Aさんは介護福祉職に対して, 「Bは頭もいいし, かわいいし, きっと妻に似たんだな」とよく話していた。

Bさんが面会に来た時, 「誰だい。ご親切にありがとうございます」というAさんの声と, 「私はあなたの娘のBよ, 忘れちゃったの」「お父さん, しっかりしてよ」と怒鳴るBさんの声が部屋から聞こえた。

介護福祉職がAさんへのアドボカシー(advocacy)の視点からBさんに行う対応として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 Aさんへの行動は間違っていると話す。
- 2 Bさんに対するAさんの思いを話す。
- 3 Aさんの成年後見制度の利用を勧める。
- 4 Aさんとはしばらく面会しないように話す。
- 5 Bさんの思いをAさんに伝えると話す。

人間関係とコミュニケーション

問題 3 利用者との関係を構築するためのコミュニケーションの基本として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 聞き手に徹する。
- 2 声の高低や抑揚を一定に保つ。
- 3 身振りや手振りは最小限にする。
- 4 介護福祉職の主観を基準にする。
- 5 利用者の生活史を尊重する。

問題 4 Cさん(87歳, 女性)は, 介護老人保健施設に入所している。

最近, Cさんがレクリエーション活動を休むことが多くなったので, 担当のD介護福祉職はCさんに話を聞いた。Cさんは, 「参加したい気持ちはあるので, 次回は参加します」と言いながらも, 浮かない表情をしていた。D介護福祉職は, 「自分の気持ちを我慢しなくてもいいですよ」とCさんに言った。

この時のD介護福祉職の言葉かけに該当するバイステック(Biestek, F.)の7原則の内容として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 秘密保持
- 2 自己決定
- 3 非審判的態度
- 4 意図的な感情表出
- 5 個別化

<領域：介護>

介護の基本

問題 17 2017年(平成29年)4月現在, 経済連携協定(Economic Partnership Agreement)に基づく介護福祉士候補者等の受入れに関する次の記述のうち, **正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 介護福祉士候補者の受入れは, 2002年度(平成14年度)から始まった。
- 2 対象となる国は, 東南アジア6か国である。
- 3 介護福祉士候補者の受入れ施設の要件は, 常勤介護職員の2割以上が介護福祉士であることである。
- 4 介護福祉士候補者の在留期間は, 3年である。
- 5 介護福祉士として介護業務に従事する限り, 日本に在留できる。

問題 18 社会福祉士及び介護福祉士法に関する次の記述のうち, **適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 介護に従事している者は, 介護福祉士を名乗ることができる。
- 2 介護福祉士の業として, 介護者に対する介護に関する指導が含まれる。
- 3 成年被後見人や被保佐人は, 介護福祉士となることができる。
- 4 介護福祉士は信用失墜行為をした場合, 罰則により1年以下の懲役または30万円以下の罰金に処せられる。
- 5 介護福祉士国家試験に合格した日から, 介護福祉士を名乗ることができる。

問題 19 介護における自立に向けた支援に関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 機能回復訓練を中心に介護計画を作成すること
- 2 他者の支援を受けずに、自らの力で生活できる状態にすること
- 3 本人の意思よりも、介護者からみた自立を優先すること
- 4 介護を受けていても社会参加できるように支援すること
- 5 自分で着衣し終わるまで、何時間でも介護者が見守ること

問題 20 Hさん(75歳, 女性)は、1か月前に介護老人福祉施設に入所した。脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症として、左片麻痺ひだりかたまひがあり、認知症(dementia)と診断されている。看護師として長年勤め、退職時は看護部長であった。Hさんは日頃から、介護福祉職に苦情を言い、周りの利用者とのトラブルも絶えない。特に日中の入浴に関しては、拒否が強く、「私は仕事があるから、夜に一人でお風呂に入りたい」という訴えが続いている。

介護福祉職のHさんへの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 施設長から、特別扱いはできないことを説明してもらう。
- 2 夜の、居室での全身清拭ぜんしんせいしきに変更する。
- 3 Hさんの対応を、施設の看護職員に任せる。
- 4 家族から、既に退職していることを説明してもらう。
- 5 Hさんの働いていた頃の話詳しく聴く。

問題 21 看護小規模多機能型居宅介護に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 居宅サービスに位置づけられている。
- 2 長期間の宿泊を目的としている。
- 3 管理者は医師とされている。
- 4 都道府県域でのサービス提供を行う。
- 5 看護と介護を一体的に提供する。

問題 22 個人情報を使用するに当たり、本人や家族への説明と同意が不要となるケースとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 意識消失とけいれん発作を起こした利用者の個人情報を救急隊員に提供する場合
- 2 指定介護事業者が、サービス担当者会議に利用者の個人情報を提供する場合
- 3 行事で撮影した利用者の顔写真を、施設の広報誌に使用する場合
- 4 転居先の施設の求めに応じて、利用者の個人情報を提供する場合
- 5 実習生が、利用者の個人情報を閲覧する場合

問題 23 介護老人福祉施設における防災対策に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 消防法において、年1回以上の消火・避難訓練が義務づけられている。
- 2 大規模災害時には、災害派遣医療チーム(DMAT)の活動拠点本部になることが義務づけられている。
- 3 災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者名簿の作成が、施設長に義務づけられている。
- 4 避難訓練は、混乱が想定される夜間は避ける。
- 5 施設が作成する非常災害対策計画の内容は、職員間で十分に共有する。

問題 24 一人暮らしの認知症高齢者のJさんが、一昨日、訪問販売で高価な寝具を購入して、家族が困惑している。この家族への介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Jさんが他者と関わらないように助言する。
- 2 国民生活センターで、契約を解除してもらうように伝える。
- 3 施設入所を勧めて、消費者被害を繰り返さないようにする。
- 4 クーリング・オフ制度を利用して、契約を解除できることを伝える。
- 5 自己破産制度を活用して、自己破産を勧める。

問題 25 「育児・介護休業法」に基づく、休業や休暇などの取得に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 育児休業期間は、子が満3歳になるまでである。
- 2 子の小学校就学前まで短時間勤務制度を活用できる。
- 3 子が病気等をしたときは、3歳まで年に10日間の看護休暇を取得できる。
- 4 要介護状態にある家族の通院の付添いをするときは、介護休暇を取得できる。
- 5 介護休業とは、2か月以上要介護状態が続いている家族を介護するためのものである。

(注) 「育児・介護休業法」とは、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」のことである。

問題 26 「ストレスチェック制度」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ストレスチェックは会社の上司が実施する。
- 2 ストレスチェックは、労働者数30人以上の事業者には義務づけられている。
- 3 労働者のメンタルヘルス不調の未然防止が主な目的である。
- 4 実施した結果は、事業者から労働者に対して通知することが義務づけられている。
- 5 各事業所で2年に一度実施することが規定されている。

(注) 「ストレスチェック制度」とは、労働安全衛生法で定める「労働者に対して行う心理的な負担の程度を把握するための検査及びその結果に基づく面接指導の実施等を事業者には義務づける制度」のことである。

コミュニケーション技術

問題 27 受容の説明に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 価値観を尊重する。
- 2 問題行動を否定する。
- 3 言い分に同調する。
- 4 感情を分析する。
- 5 否定的感情を抑圧する。

問題 28 コミュニケーションがより円滑になるように、開かれた質問をする目的として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 初対面の利用者と会話を始めるときに緊張をほぐすきっかけをつくる。
- 2 話す気分になれなくて口数が少ない利用者と会話を続ける。
- 3 漠然としていて伝わらない利用者の考えを明確にする。
- 4 重度の認知症(dementia)でコミュニケーション能力が低下している利用者から情報を得る。
- 5 利用者の繰り返す同じ話を一旦止める。

問題 29 Kさん(75歳, 女性)は, 脳梗塞(cerebral infarction)を発症して, 1か月間入院した後, 介護老人保健施設に入所した。Kさんは重度の運動性失語症(motor aphasia)のため, 自分から話すことはなかった。

入所して2か月ほど過ぎた頃, Kさんは, 少しずつ言葉が話せるようになった。ある日の午後2時頃, 介護福祉職に向かって, 「お茶, いや, 違う, お, お, 違う, ええと」と話し始めたが, 伝えたい言葉が見つからないようで, もどかしそうであった。

この時のKさんへの介護福祉職の言葉かけとして, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 「何を言いたいのでしょうか」
- 2 「もう1回繰り返してください」
- 3 「おやつの時間まで待ってください」
- 4 「何か飲みたいのですね。お水ですか？」
- 5 「言葉が出てきてよかったですね」

問題 30 抑うつ状態(depressive state)の利用者への介護福祉職の対応として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 元気を出すように言う。
- 2 沈黙している理由を問いただす。
- 3 会話を促す。
- 4 気晴らしに散歩に誘う。
- 5 見守っていることを伝える。

問題 31 Lさん(75歳, 女性)は, 介護老人福祉施設に入所している。中等度のアルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断されて, 担当のM介護福祉職(男性)を, 既に亡くなった自分の夫であると認識している。何か心配なことがあると, M介護福祉職を探しだして, 「お父さん聞いて…」と不安そうな表情で話してくる。

不安そうな表情で話すLさんへの, M介護福祉職の対応として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 女性職員に対応してもらうように伝える。
- 2 夫は既に亡くなっていることを伝える。
- 3 Lさんの話に耳を傾ける。
- 4 おしぼり畳みの軽作業を依頼する。
- 5 忙しくて手が離せないことを伝える。

問題 32 Aさん(97歳, 女性)は, 介護老人福祉施設に入所している。最近, 衰弱が進んで水も飲めなくなり, 「もう, 逝ってもいいんだけどね」とつぶやくことが増えた。

ある日, 夜勤の介護福祉職がAさんの様子を確認しようとベッドに近づくと, Aさんが目を開けて, 「お迎えはまだかしらね」と穏やかな顔で言った。

Aさんの発言に対する介護福祉職の対応として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 何も考えずに早く寝た方がいいと就寝を促す。
- 2 Aさんの手を握り, ゆっくりさする。
- 3 そのような言葉を言ってはいけないと伝える。
- 4 明日, 家族に連絡して来てもらうことを伝える。
- 5 いつものことだと思って, 声をかけずにそのまま部屋を出る。

問題 33 介護業務の事故報告に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 口頭での報告は、結論を述べてから事故に至る経過を説明する。
- 2 事故報告書は、管理者以外は閲覧できないように保管する。
- 3 軽微な事故の場合は、後日報告する。
- 4 介護福祉職としての判断を除外して報告する。
- 5 記録した内容は、口頭での報告が不要である。

問題 34ブレインストーミング(brainstorming)の原則に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 奇抜な意見を除いて、自由に意見を出す。
- 2 他人の意見が正しいかどうかをその場で判断する。
- 3 意見の質よりも、数多くの意見を出すことに価値を置く。
- 4 他人の意見を参考にしてはいけない。
- 5 他人の意見を自由に批判する。

生活支援技術

問題 35 Bさん(87歳, 女性)は夫(90歳)と二人暮らしである。Bさんには持病があり, 夫は脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症による軽い右片麻痺^{みぎかたまひ}で, 訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用している。Bさんと夫は苦勞して手に入れた自宅に愛着を感じており, 以前から, 「死ぬならこの家で」と話していた。ある日Bさんは, 「この家で死にたいと思っていたけど, いつまで二人で暮らせるか…」と打ち明けた。話を聞いた訪問介護員(ホームヘルパー)がBさんにかかる言葉として, **最も適切なものを1つ選びなさい。**

- 1 「ご夫婦二人で入居できる施設を探しましょう」
- 2 「便利な道具がいろいろありますから使ってみましょう」
- 3 「どなたかご家族と同居できるといいですね」
- 4 「いざとなれば病院に入院しましょう」
- 5 「何か心配なことがおありなんですね」

問題 36 介護老人福祉施設における居室の環境整備で留意すべき点として, **最も適切なものを1つ選びなさい。**

- 1 利用者が使い慣れた家具を置く。
- 2 居室のドアは開けたままにしておく。
- 3 時計は天井に近い壁に掛ける。
- 4 居室の温度は, 介護福祉職の感覚に基づいて調整する。
- 5 多床室は, 入口から室内が見通せるように家具を配置する。

問題 37 利用者の自宅の清掃を行うときの注意点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 玄関は乾燥した茶殻をまいて掃く。
- 2 窓ガラスは最初に乾いた雑巾で拭く。
- 3 畳は畳の目に沿って拭く。
- 4 浴室にカビ取り剤を散布するときは窓を閉める。
- 5 はたきを使った掃除は低い所から始める。

問題 38 ユニットケアを行う入居施設の「プライベート空間」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 集団レクリエーションを行う空間である。
- 2 地域の人でも利用できる喫茶コーナーを設ける空間である。
- 3 複数の利用者が集うことができる空間である。
- 4 利用者の居室を示す空間である。
- 5 面会者用の空間である。

問題 39 Cさん(75歳, 男性)は、頸椎症(けいついしょう cervical spondylosis)と診断された。手がしびれ、指先に力が入らない。しびれが強い左手に加えて、最近では、右手の症状が進行して、食後の歯磨きがうまくできなくなった。

Cさんが口腔こうくうの清潔を保つための介護福祉職の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 歯間ブラシの使用を勧める。
- 2 歯ブラシをやめて、洗口液のうがいをするように勧める。
- 3 柄を太くした歯ブラシの使用を勧める。
- 4 口をすすぐときは、上を向くように勧める。
- 5 歯ブラシを歯肉に当てるように勧める。

問題 40 保温効果を高めるための着衣に関する次の助言のうち、最も適切なものを

1つ選びなさい。

- 1 衣類の間に薄手の衣類を重ねて着るように勧める。
- 2 一番上に通気性の高い衣類を着るように勧める。
- 3 一回り小さいサイズの衣類を着るように勧める。
- 4 肌に接する衣類は、防水性の高いものを着るように勧める。
- 5 袖幅の大きい衣類を着るように勧める。

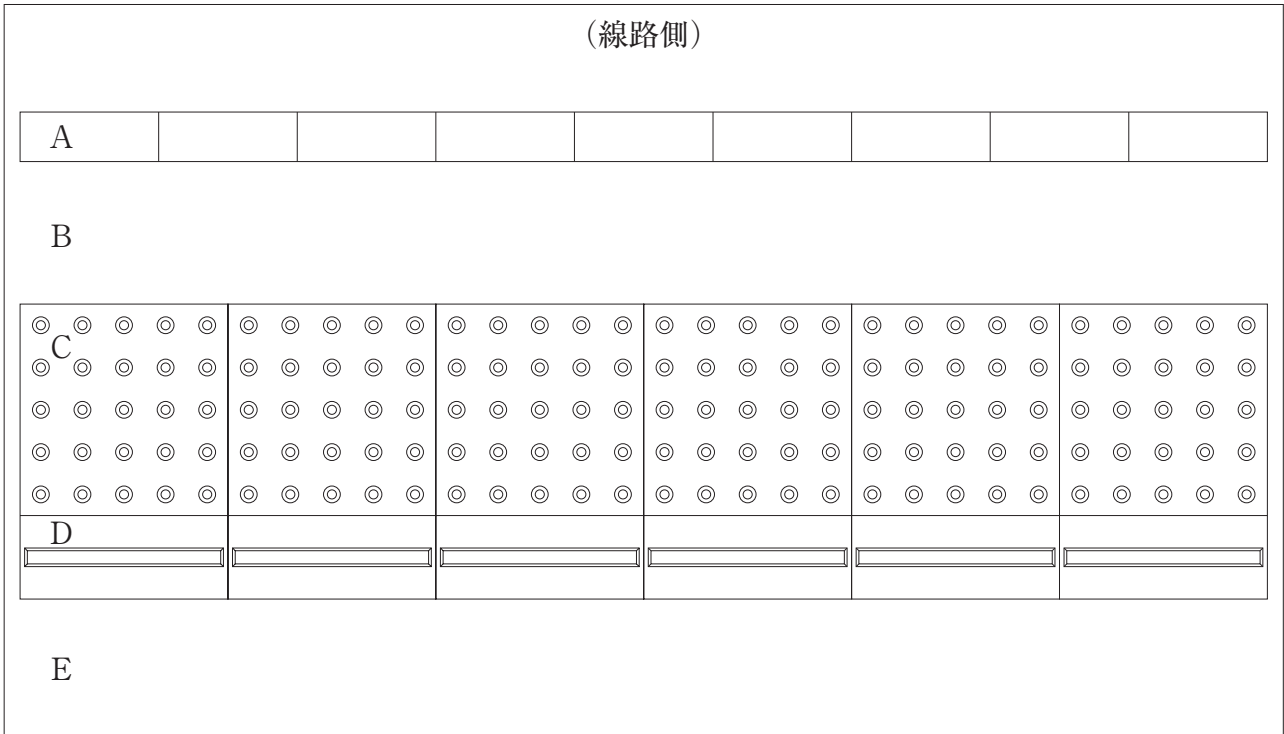
問題 41 ベッドの端に座っている左片麻痺ひだりかたまひの利用者の、立ち上がりまでの基本的な介護として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の右側に立つ。
- 2 立ち上がる前に、深く座りなおすように促す。
- 3 利用者の右膝を支える。
- 4 利用者を真上に持ち上げる。
- 5 立ち上がった時に、利用者の右膝の裏が伸びていることを確認する。

問題 42 屋外での車いすの介助方法として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 段差を上がるときは、キャスターを斜めに向ける。
- 2 段差を下がる時は、後ろ向きで後輪から下りる。
- 3 急な上り坂では、両腕の力で素早く進む。
- 4 急な下り坂では、前向きで進む。
- 5 砂利道では、後輪を持ち上げて進む。

問題 43 図はU駅のホームの見取図である。介護福祉職が視覚障害者と列車を待つときの位置として、適切なものを1つ選びなさい。



(注) Aは白線である。Cは点状ブロックである。

- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E

問題 44 食中毒(foodborne disease)の予防に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生食用海産魚介類は、塩水で洗う。
- 2 カレーやシチューは、常温で保存する。
- 3 生の肉を切った包丁とまな板は、すぐに洗って熱湯をかけておく。
- 4 豚肉は、中心部が50℃になるように1分間加熱する。
- 5 解凍した冷凍食品の残りは、再度冷凍して保管する。

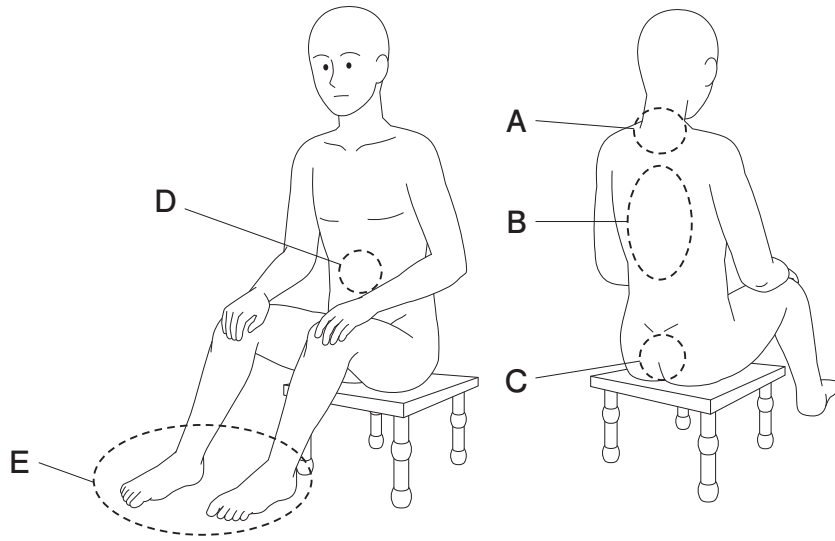
問題 45 えんげしょうがい 嚥下障害がある利用者に提供する飲食物として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 レモンジュース
- 2 だんご
- 3 プリン
- 4 牛乳
- 5 紅茶

問題 46 施設における介護福祉職と他職種との連携として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食事時に咳込む利用者の^{せきこ}嚥下機能^{えんげきのう}の評価を、作業療法士に相談する。
- 2 寝たきりの利用者の仙骨部に発赤を見つけたときは、看護師に相談する。
- 3 体重減少が続いている利用者に気づいたときは、社会福祉士に相談する。
- 4 車いすでの食事時に姿勢が崩れてしまう利用者に気づいたときは、言語聴覚士に相談する。
- 5 えんげこんなん 嚥下困難のある利用者に提供する食事内容を、歯科衛生士に相談する。

問題 47 糖尿病(diabetes mellitus)のある利用者の入浴時に、特に注意して観察すべき皮膚の部位として、適切なものを1つ選びなさい。



- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E

問題 48 おむつで排泄はいせつを行っている利用者の陰部せいしきの清拭に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 排便がなければ、殿部せいしきの清拭は省略できる。
- 2 女性では、会陰こうもんから肛門に向かって拭く。
- 3 本人の希望がなければ、実施しなくてよい。
- 4 男性せいしきの清拭の回数は、女性よりも少なくてよい。
- 5 週2回入浴を実施していれば、毎日行わなくてよい。

問題 49 排便のメカニズムに基づく排泄はいせつの介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トイレまでの歩行は、胃・結腸反射を誘発するために有効である。
- 2 食後の臥床がしやうは、腸内の蠕動運動ぜんどううんどうの亢進こうしんに有効である。
- 3 トイレ誘導は、便意を催してから30分後が有効である。
- 4 腹部マッサージは、下行結腸、横行結腸、上行結腸の順に行うことが有効である。
- 5 便座に座って足底を床につけた前傾姿勢は、腹圧を高めるために有効である。

問題 50 直腸性便秘のある高齢者の介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 排便時は隣に立って見守る。
- 2 市販の下剤を毎日勧める。
- 3 日中の活動を控えるように勧める。
- 4 朝食後、トイレに誘導する。
- 5 食物繊維は控えるように勧める。

問題 51 消化管ストーマを造設している人の生活支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 排泄物はいせつぶつがパウチの3分の1から2分の1程度たまったら処理するように助言する。
- 2 ベルトでウエストを締める服を選ぶように助言する。
- 3 ラジオ体操は控えるように助言する。
- 4 回腸ストーマのある人は水分摂取は控えるように助言する。
- 5 れんこんやごぼうを多くとるように助言する。

問題 52 季節や行事と、食事の組合せとして、最もふさわしいものを1つ選びなさい。

- 1 節分 ————— お節料理
- 2 桃の節句(ひな祭り) ——— かしわもち 柏餅
- 3 七夕 ————— ななくさがゆ 七草粥
- 4 土用の丑の日 ————— うし うなぎのかば焼き
- 5 冬至 ————— ちまき

問題 53 疾病のために食事制限がある利用者の食生活に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 人工透析をしている利用者には、生野菜を勧める。
- 2 高血圧の利用者には、1日の塩分摂取量を10g以下にする。
- 3 こつそしょうしょう 骨粗鬆症(osteoporosis)の利用者には、豆類を勧める。
- 4 糖尿病(diabetes mellitus)の利用者には、朝食に1日のエネルギー量の半分を配分する。
- 5 肝疾患(liver disease)の利用者には、低カロリー、低たんぱくの食事を勧める。

問題 54 エンゲル係数について相談を受けた介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 住居費について一緒に考える。
- 2 食料費の内容について一緒に考える。
- 3 光熱水道費の内容について一緒に考える。
- 4 交際費の内容について一緒に考える。
- 5 教養娯楽費の内容について一緒に考える。

問題 55 洗濯に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ほころびや破れがあるものは、修理してから洗濯する。
- 2 色がるのを防ぐために、素材の違うものは分けて洗濯する。
- 3 嘔吐物おうとぶつで汚れたカシミヤのセーターは、塩素系漂白剤につけてから洗濯する。
- 4 ファスナーは開けた状態で洗濯する。
- 5 マジックテープは、はずした状態で洗濯する。

問題 56 昼夜逆転している利用者への介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食べたい時に、食事をするように促す。
- 2 1時間以上、昼寝をするように促す。
- 3 夕方に、散歩をするように促す。
- 4 寝る直前に熱いお風呂に入るように促す。
- 5 眠くなるまで、テレビを見て過ごすように促す。

問題 57 パーキンソン病(Parkinson disease)(ホーエン・ヤール重症度分類ステージ3)の高齢者の寝室環境に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ベッドは介護者に合わせた高さにする。
- 2 ベッドに手すりをつける。
- 3 マットレスは体が沈みこむものを選ぶ。
- 4 ベッドサイドの床にクッション性のあるマットを敷く。
- 5 枕は頸部前屈けいぶぜんくつになるような高さにする。

問題 58 Dさん(75歳, 女性)は, 以前は散歩が好きで, 毎日, 1時間ぐらい近所を歩いていた。最近, 心不全(heart failure)が進行して歩行がゆっくりとなり, 散歩も出かけず, 窓のそばに座って過ごすことが多くなった。食事は, すぐおなかがいっぱいになるからと, 6回に分けて食べている。夜, 「横になると呼吸が苦しい時があり, 眠れていない」という言葉が聞かれるようになった。

Dさんへの安眠の支援に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 寝る前に, 肩までつかって入浴する。
- 2 寝る30分前に, 少量の食事を摂取する。
- 3 以前のように, 毎日1時間の散歩を再開する。
- 4 就寝時は, セミファーラー位にする。
- 5 朝, 目覚めた時にカーテンを開ける。

問題 59 終末期にある利用者を施設で看取る家族への支援として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 毎日面会に来るように促す。
- 2 家族が利用者のためにできることを提案する。
- 3 積極的な情報提供は控える。
- 4 感情を表出しないように助言する。
- 5 パブリックスペースを用意する。

問題 60 施設において、介護福祉職の行う死後の処置として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 義歯ははずす。
- 2 衣服は施設が指定したものを用いる。
- 3 着物の場合は右前に合わせる。
- 4 着物の場合は帯紐おびひもを縦結びにする。
- 5 死後の処置は、死後3時間経過してから行う。

介護過程

問題 61 介護過程の目的に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 疾病の診断資料として活用する。
- 2 職種間の専門性の違いを明確にする。
- 3 介護福祉職の業務負担を軽減する。
- 4 利用者の自己実現を支援する。
- 5 家族の希望や思いを代弁する。

問題 62 利用者のアセスメント(assessment)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者本人の希望に沿った情報を収集する。
- 2 家族のニーズを優先させながら情報を収集する。
- 3 介護福祉の知識を活用して情報を解釈する。
- 4 生活課題を明確にした後で情報を関連づける。
- 5 利用者の情報を整理した後で要望を聞く。

問題 63 介護計画の立案に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 以前の介護計画は考慮せずに立案する。
- 2 現実的で実践可能な内容にする。
- 3 介護福祉職の望む利用者像を目指す。
- 4 本人や家族の希望と乖離^{かいり}してもよい。
- 5 安全性よりも効果を優先する。

問題 64 介護記録に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 事実はありのままに記録する。
- 2 鉛筆で記録する。
- 3 数日後に記録する。
- 4 介護福祉職の感情を記録する。
- 5 他職種との関わりを除外して記録する。

問題 65 介護過程の評価に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護計画の内容に対する介護福祉職の満足度を評価する。
- 2 支援の実施状況に関する情報を整理して、評価する。
- 3 複数ある短期目標は集約して評価する。
- 4 実施後に評価基準を定めて評価する。
- 5 家族が多角的な視点から評価する。

問題 66 Eさんは認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居している。廊下を頻繁に歩き、他の利用者の部屋に入ってはトラブルになりかけている。介護福祉職が声をかけると、「私には行くところがある」と怒鳴る。

Eさんのアセスメント(assessment)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 怒鳴られた介護福祉職の気持ちを情報として活用する。
- 2 「廊下を頻繁に歩かないこと」を生活課題に設定する。
- 3 他の利用者とトラブルになりかけている情報は不要と判断する。
- 4 「私には行くところがある」という言葉を解釈する。
- 5 言動から短気な性格だと考えて分析する。

問題 67 Fさん(75歳、女性)は、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)である。家族の介護負担が増加して、3日前から介護老人保健施設に入所している。入所前から、トイレに間に合わずに尿失禁をしてしまうことがあるため、昼夜、リハビリパンツを使用している。歩行は自立している。夜間、トイレに起きているが、その後、眠っていることが確認されている。

Fさんの尿失禁の改善を目標に収集する情報として、最も優先度の高いものを1つ選びなさい。

- 1 介護負担となっている家族背景
- 2 施設生活に対する不安
- 3 夜間の中途覚醒状況
- 4 トイレに行く時間帯
- 5 歩行に必要な下肢筋力

問題 68 Gさん(66歳, 女性)は, 1年前に脳梗塞(cerebral infarction)を発症して片麻痺かたまひになった。在宅復帰を目指し, 介護老人保健施設に入所して, 「家に帰れるように頑張らなくちゃ」と熱心に立位訓練に取り組んでいた。しかし, 同居していた孫が3日前に訪れてから, 「体調が悪い」と言って, 閉じこもり, 食事は半分も食べなくなった。傾聴ボランティアがGさんの居室を訪れると, 「訓練しても帰るところがない」と泣いて話したという。

Gさんに対する介護福祉職の対応として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 食事量を評価して, 栄養指導を行う。
- 2 立位訓練を評価して, 回復状況を把握する。
- 3 家族と調整して, 退所後の住まいを整える。
- 4 サービス担当者会議に孫を招集する。
- 5 傾聴ボランティアの情報を基に, 本人の生活ニーズを確認する。